

円居

まどゐ

令和7年7月17日(木)
 備前市立備前中学校
 校長 藤森 卓麻
 0869-64-3365

「思い」を「遣(や)る」

7月、フリーアナウンサーの方を講師としてお招きして、二年生対象にマナー講座が開かれました。講座のタイトルは「職場体験に向けて」言葉のキャッチボールを！」。その冒頭で講師の先生が言われたのは「マナー」とは思いやり」。「思いやり」は、古くは「思い遣(や)る」という言葉で、「遠くへ思いをはせる」とか、「想像する」「気にかける」といった意味で『枕草子』や『源氏物語』等にも登場します。つまり、相手のこと(立場、状況、心境...)を考えながら、相手に対する自分の思いを届けるというのが「思いやり」＝「マナー」ということでしょうか。特に今回は職場体験を踏まえてお話をいただきました。初めての相手に対して大事な第一印象。その第一印象は6秒で決まるということです。そのために意識しないといけないポイントは、「姿勢・視線・手元・足元・服装・癖」とのこと。あいさつも上手に。それらを通して、初めてお会いした方・職場の皆さん・事業所や会社へ感謝や敬意を伝えることになるのです。ほかに、おじぎや、コミュニケーションスキルについても学びました。コミュニケーションはいわば会話のキャッチボールです。上手に投げるのも大事

ですが、キャッチすること、つまり「聴くこと」の重要性も説かれました。職場体験のためだけにいかすのはもったいない。普段の生活、これからの自分に大いに繋げてほしいなと思いました。

野球のキャッチボールに必要なものは、基本的な技術もそうですが、やはり「思いやり」です。相手が捕りやすいところに投げる。自分の手から離れたら終わりではありません。相手に送り届ける(＝「遣る」)んです。相手からのボールに対して「ナイスボール」と言うのは、相手を尊重する、認めること。相手からのボールがそれでも、足を動かして自分の胸の前で捕る。相手の暴投が暴投ではなくなります。私も含めて野球の指導者はよく口にしてきたことですが、松井秀喜さん(読売ジャイアンツ)メジャーリーグ・ヤンキース等)を育てた星陵高校名誉監督、山下智茂さんの言葉として有名です。

地域で「思い遣る」

昨年も触れましたが、私の目の前の子どもたちと、校外に伝わる子どもたちの姿とは、少々(かなり?)見え方が違うようです。地域の会合で心配される声を直接いただくこともあります。我々は、子どもたちの成長を身近に感じながら、来年、再来年、さらにもっと先のことも踏まえて、日々子どもたちと向き合っているつもりです。身な

りや振る舞い、出てくる言葉の向こう側にある姿を積極的に見ようとしています。しかし、普段から子どもたちと接する機会の少ない方にとっては、生徒から発信される情報は、身なりや公共の場での態度に限られ、生徒自身が意識していない「思い」として周りの方々に伝わることもあるのだと思います。子どもたちには、普段のあいさつやちょとした言葉のキャッチボールを大切にすること、「思い遣る」ことを意識してほしいことを継続して伝えていきます。ただ、思春期真っ只中の子どもたちは、ナイスボールを投げないこともあります。投げてくれたボールを取り損なうこともあるかもしれません。保護者の皆様を含め地域の皆様には、そんな子どもたちにも遠慮無く声を掛けていただけるとありがたいです。危ないことや人に迷惑を掛けるようなことをしていたら注意してください。逆に、人のために、あるいは自分自身のために何か頑張る姿が見られたら褒めてください。

夏休みに入ります。普段より家や地域で過ごす時間が増えます。子供達には、普段できないことに挑戦してみたり、じっくり自分のこと、将来のことに向き合ったりしてほしいと思います。そんなときに、周囲の大人の言葉というのは、必ず子どもたちにとって何かに繋がるヒントとなるはずですよ。今後とも、どうかよろしく願いいたします。

備前中HP
 「学校の様子」
 がご覧
 になれます。



「協力ありがとう」が大切です

新年度から給食当番用エプロン持ち帰りの仕組みを変更させていただいております。当初は戸惑いの声が生徒から聞こえてくることもありましたが。保護者の方からも非常に丁寧なお手紙で「意見をいただいたこと」もありました。率直なご意見ありがとうございました。他の人が着たものを自分が持つて帰る、ということよりも、自分が着たものを他の人が持つて帰ること、に抵抗を覚える人が多いことが、私にとって思いのほか多く、私の想像力が足りなかったことを反省しております。申し訳ありませんでした。

一方で、約三か月実施してみて、目的の一つであった、給食エプロンを忘れる生徒が昨年度と比べて減ったこと、また、このやり方にずいぶん慣れてきたことを踏まえて、引き続きこの仕組みで実施していきたいと考えます。どうしても抵抗感がある、という方は、個人エプロン等の選択肢も考えておりますので、学校に遠慮なくご相談ください。ご協力ありがとうございます。

一期一会

【新たに赴任】

原田 由起子 (支援員)
 平野 智義 (用務員)



PTA
 Instagram
 フォローお願いします
 カマロ